



Meyuns Ngara Yaml

ミュージンズ・ガラ・ヤムル

代表
ベネディクタ・メオール
ベデビー・サダン

主な活動内容

- メセイ(タロイモ畑)の復興
- コミュニティへのサポートの提供
- ミュンズ貯水槽の維持
- 高齢者へのサポート



設立背景

第二次世界大戦後、コロール州にあるミュージンズ地域の女性たちにより設立。

活動目的

ミュージンズに伝わる文化・伝統に基づき、道路の補修、村の清掃、メセイの維持管理など奉仕活動を行う。



メンバーからの声 ベネディクタ・メオール代表

私は母が引退した際、この組織のリーダーシップを引き継ぎました。現在の会員数は187人です。会員になるための条件は、パラオ人かミュージンズ出身もしくは在住のパラオ人の妻であることです。この条件を満たす女性たちは、高校卒業後に組織へ参加できます。私たちは先代の女性たちがそうしてきたように、先人の残した足跡をたどり娘たちにこの伝統を引き継いでいます。定期的にバイと呼ばれるパラオの伝統的な集会所やユースセンターに集い、私達のコミュニティに何が必要か話し合っています。地域や学校で問題が発生した際には、その都度、話し合いの場を設け解決策を見つけます。

主なプロジェクトは二つあり、一つはメセイ(タロイモ畑)をミュージンズ内に二箇所復活させることです。これは、食糧安全保障と伝統維持を目的としています。しかし、メセイまでは急勾配でアクセスが難しく、特に高齢者にとって安全な道のりとは言えません。道路を作る構想はありますが、人材と資金が不足しています。若い世代はオフィスでの労働に関心があり、このプロジェクトにそれほど興味がなく、それが人材不足の一因となっています。

もう一つは、日本統治時代、日本人によって建設されたミュージンズ貯水槽の維持管理です。水不足による断水時、ミュージンズだけでなくコロールの人たちもこの貯水槽を利用しに来ます。小さいですが、水が止まることはありません。私達女性だけでなくルバック(パラオの長老)や若者など男性たちとともに協力しあい維持管理をしています。多くの人にとって身近な存在であるこの建造物に対し、小さい子どもたちが維持管理の重要性を理解しているのは嬉しいことです。

これらの活動を継続するため、共同作業や資金援助の機会を増やしたいと思います。資金不足を理由に、私たちの伝統に基づいた地域奉仕活動を絶やしてはならないのです。

Contact Information



(680)-488-2048 (680)-779-3313